



World Vision

この子を救う。未来を救う。



エスワティニ王国 ゲゲ地域開発プログラムのご紹介 (SWZ-189622)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どもを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えられるよう、チャイルドが住む地域を支援するプログラムです。チャイルドが住む地域と、現地でワールド・ビジョンが実施しているプログラムについてご紹介します。

地域の課題



支援地域の風景。市場までのアクセスが悪く、農作物を売って生計を立てるのが困難です



水衛生

- 安全な飲料水を得られる人 **約49%***
- 安全で清潔なトイレ施設を使用できている人 **約11%****



保健・HIV/エイズ

- HIV/エイズに関する正しい知識を持っていない12～18歳の若者 **約50%****



支援地域の住居の様子。草ぶきの屋根からは雨漏りすることもあります

*2016年時点

**2018年時点

国情報

エスワティニ王国

アフリカ大陸の南に位置し、北東にモザンビーク、ほかの国境線はすべて南アフリカ共和国に接する内陸国。国王を元首とする立憲君主制国家で、国王の権力は憲法でも保障されています。首都はムババーネ。教育制度は、初等教育（7年）、中等教育（5年：3-2年）、高等教育です。近年の干ばつによる食料危機と、HIV/エイズの蔓延、それによる生産者の減少が、大きな課題となっています。

首都：ムババーネ

ゲゲ地域開発プログラム

地域情報

ゲゲ地域開発プログラム

支援期間：2009年～2025年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都ムババーネから南へ約100kmの場所に位置する、シセルウェニ地方ゲゲ区にてプログラムを実施しています。最貧困層が人口の7割近くを占め、エスワティニの中でも最も貧しい地域の1つです。多くの住民は農業を営んでいますが、栽培技術が低い上、市場までのアクセスが悪く、収穫物を売って生計を立てるのが困難です。このため仕事を求めて南アフリカへ出稼ぎに行く住民も少なくありません。エスワティニはHIV/エイズの感染率が26%と世界で最も高く、ゲゲ地域にも母子感染によりHIV/エイズに感染した子どもが多くいます。

地域の課題



水衛生

川や池の水を利用する住民が多く、安全な飲料水を得ることができる割合は48.6%にとどまっています。家畜なども利用する不衛生な川や池の水は、健康に害をおよぼします。野外での排泄も衛生状態を悪化させる原因となっており、住民の意識の向上が必要です。



保健・HIV/エイズ

HIV/エイズの感染者が多く、母子感染した子どもたちも多くいます。HIV/エイズに対する差別や偏見がこれらの子どもたちを苦しめています。また、HIV/エイズに感染して家計の担い手が働けなくなったり、亡くなったりするケースもあります。

ワールド・ビジョンが行う支援活動

- トイレ、井戸、水道など衛生設備の設置支援
- 住民への保健や衛生習慣についての研修
- トイレを使用することの重要性に関する啓発



水ポンプを設置し、清潔な水を得られるよう支援します

- 住民への、HIV/エイズの予防や対処法に関する啓発
- 感染者の子どもたちを定期的に訪問し、健康状態の確認と、必要な医療支援を提供



人々に健康管理や、HIV/エイズ予防と対処に関する知識を伝えています

支援はチャイルドの生活を変える力となります



ググちゃんと家族は以前、草むらで用を足していました。用を足す前に穴を掘っていなかった
ので、雨期には汚物が川に流れ、非常に不衛生な状態でした。

しかし、ワールド・ビジョンの衛生に関する研修に参加したググちゃんの両親は、トイレの建て
方を学び、提供された資材で衛生的なトイレを完成させました。「新しいトイレは気持ちよく
使えます。鍵もかかり、人の視線を気にせずに済みます」とググちゃんは喜んでいます。

ワールド・ビジョンは、ググちゃんのような子どもたちの生活環境を改善していくために支援活動
を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報
がご覧いただけます。

ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続
きをしていただけます。申請後、5 営業日以降、情報をご確認いただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、
チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN